

一般貨物自動車運送業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|--|----|---------|
| 1 | 23～24 | 商品引取のため、引取先店舗構内（屋外）を歩いていたところ、当時路面が凍結しており、少し勾配がある所で足を滑らせ、左足をくじく形になり骨折した。 | 45 | 10～29 |
| 1 | 4～5 | 運行中、業務連絡のため中間連絡を公衆電話で入れようとしたとき、路面が凍結しており、安全靴を履いていたが足元をとられ転倒し、左足首を強く捻って左足関節捻挫・外果骨折した。 | 47 | 1～9 |
| 1 | 9～10 | 配達先で荷物搬入中、倉庫内の高さ5cmの段差を踏み外し、左足首をひねった。足首には、異常がなかったが、左第5指中足骨骨折と診断された。 | 40 | 30～49 |
| 1 | 18～19 | 3階倉庫内で棚卸し作業中、終了場所確認のため、チェックしながら場所移動した時、足元にあったダンボールにつまずき膝をつき転倒した。右膝は手をつき少しカバーできたが、左膝は床に強く打ちつけてしまった。 | 61 | 50～99 |
| 1 | 7～8 | 構内において、商品の荷降し後、車の運転席に戻ろうとした際、凍結していた地面に足をとられ、右側に転倒した。 | 52 | 10～29 |
| 1 | 10～11 | 配達業務の際、配達先へ向かう途中に足をつまずいてしまい転倒し、左手から地面に着き、左手で身体を支える形となってしまう、左手首に体重が掛かって左手首を捻った。なお、起因となる段差、突起物はない。 | 52 | 50～99 |
| 1 | 10～11 | 納品後に伝票を提出し、トラックに戻る際、不注意で足を滑らせ、右足が捻じれた体勢で転倒し、骨折した。 | 42 | 100～299 |
| 1 | 10～11 | 事務所出入口の段差を室内から出る時に左足を踏み外し、体左側から転倒し、左足首をくじいて骨折した。 | 49 | 50～99 |
| | | | | 500 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 1 | 20～ 21 | ホーム上で、荷物の仕分けを行っていた際、荷物を手に持ちロールボックスパレットに積み込もうとしたところバランスを崩し、右足首を捻ってしまった。 | 21 | ～ 999 |
| 1 | 7～8 | 荷物のボックスで荷物を降ろした時、ゴムストッパーの上に左足をまっすぐ乗せたがバランス崩して足首をひねってしまった。 | 25 | 1～9 |
| 1 | 20～ 21 | 配達に向かう際、入り口にある車両進入止めのポールの間のチェーンを見落とし、足を引っ掛け転倒した。その際に顔面を強打し、身体を両手で支えた為、右手首と左手薬指を痛め、前歯欠損・鼻骨骨折・左手薬指骨折を負い、右手首については後日検査予定である。 | 48 | 10～ 29 |
| 1 | 1～2 | 路上で納品作業中、トラックの荷室から降りる際に地面の段差部分に着地してしまい、右足首を捻った。 | 47 | 100 ～ 299 |
| 1 | 8～9 | 当社構内にて、業務を開始するため駐車場に止めてあるトラックに向かい歩いていた時、前日よりの積雪により路面が凍っていたため転倒し、腰部を打撲し負傷した。 | 40 | 10～ 29 |
| 1 | 7～8 | 建設現場において、トラックから荷卸しをする際、シートを外す為ゴムを取ろうとした時に、足元が凍っており、左側に転倒した。 | 36 | 30～ 49 |
| 1 | 10～ 11 | 荷積場所で、車用バッテリーを積み込み作業の際、バッテリーの固定用ロープに足が引っ掛かりバッテリーを持ったまま転倒し、左脇腹と左足を強打した。 | 49 | 10～ 29 |
| 1 | 18～ 19 | 営業所構内にて作業中に、事務場内から構内へ出る時に、足元に輪になったPPバンドが落ちているのを見落とし絡まって転倒し、その際に肩を地面で打ち、右肩脱臼を負った。 | 35 | 50～ 99 |
| 1 | 7～8 | 構内待機場所にて荷降ろし準備中、ダンプトラックのリヤゲートのハンドル解除の際、凍結していた地面で足を滑らせ転倒し、腰を打った。 | 50 | 10～ 29 |
| 1 | 9～ 10 | トラックのミラー折りを戻そうとした際、路面凍結により足が滑り転倒し、負傷した。 | 38 | 50～ 99 |
| 1 | 6～7 | 事務所に書類を提出するためトラックを降りる際、降りる足元を確認せずに跳び降りたため、アスファルトと土の境に足がついた時にひねってしまい、骨折し | 43 | 30～ |

| | | | | |
|---|-------|---|----|-----------------|
| | | た。 | | 49 |
| 1 | 4~5 | パンの伝票を届ける為トラックを停め、かけ足で通行中に側溝のみぞのフタが開いていて、そこに足が入り込み転倒し、右肘を強打し骨折した。 | 51 | 1~9 |
| 2 | 10~11 | 福祉施設にて納品中に、階段を下りる時に足を滑らせてしまい、背中から階段にぶつかりそのまま滑り落ちて、腰椎横突起骨折をした。 | 60 | 100 ~ 299 |
| 2 | 23~24 | 夜間宿直時、車輛格納庫で車輛に異常がないか巡回中に、路面凍結に気付かず足を着いて左膝を地面に打ちつけて負傷してしまった。 | 42 | 10~ 29 |
| 2 | 5~6 | 会場内でキャリアカーに積荷の車をのせる作業中、車を載せ、次の車を載せるためキャリアカーをおり移動中におりた地面（アスファルト舗装）に5~7cm位の段差があり、それに躓き、倒れそうになり、バランスを取ろうとしたが耐えられず、倒れて怪我をし受傷した。 | 48 | 30~ 49 |
| 2 | 9~10 | 取引先の敷地内にて積み降ろしの作業中に、風で飛ばされたEPスペンサー（緩衝材）が地面に落ちているのに気付かずに、トラックの荷台（約1m）から後ろ向きに飛び降りた際、EPスペンサーの上に着地してしまい右足首を捻ってしまった。 | 43 | — |
| 2 | 16~17 | 倉庫内でラップ巻き作業をしている際、バランスを崩して右足を外側に捻って転倒した。病院にて受診した結果、骨折が判明した。 | 40 | 30~ 49 |
| 2 | 16~17 | 配送先のマンションのエントランスにてトラックから荷物を降ろして、配送先宅へ運ぶ途中、オートロックドアの開閉のタイミングに慌ててしまい、緩いスロープで転倒した。 | 72 | 10~ 29 |
| 2 | 20~21 | 配達先の庭で足もとが暗く敷石に躓いて転んだ際に膝を強く打ってしまった。翌朝痛みが酷いので医者に行ったところ左膝の皿の骨にヒビが入っているとの診断を受けた。 | 63 | — |
| 2 | 9~10 | フォークリフトを使って作業中にガスが無くなりボンベを交換した。交換中に誤ってボンベを持ったまま転倒し、右手人差し指、中指、薬指をボンベとの間に挟んで強打し、骨折した。 | 69 | 50~ 99 |
| | | 商品の入ったカゴ車を移動している際、緩い下り坂で油が垂れており足を滑らせ | | 30~ |

| | | | | |
|---|-------|--|----|-----------------|
| 2 | 3~4 | てしまいカゴ車が倒れて下敷きになった。 | 53 | 49 |
| 2 | 7~8 | 通勤中、工場構内更衣室前の横断歩道を歩行する際、凍結した路面で滑り、転倒した。転倒した際、左足首を大きく負傷し、自力での歩行が困難なことから、救急車にて病院へ搬送した。 | 50 | 30~ 49 |
| 2 | 12~13 | 昼休みになり、工場構内の食堂へ移動中、屋外通路に出た時、雨が降っていたので、小走りした際、右足ふくらはぎの筋肉が肉離れした。 | 46 | 30~ 49 |
| 2 | 13~14 | 事業場内を歩いて移動中、履いていたスリッパのかかと部分を踏みつけ、転倒し、右膝を強打し、負傷した。 | 63 | 50~ 99 |
| 2 | 9~10 | 出勤時、駐車場にて下車して後方に歩き、右手に持っていた透明ビニールバッグが自分の車の後ろに突っ掛かる感じになり、同時に車止めに右足が引っ掛かってしまい転倒した。 | 47 | 30~ 49 |
| 2 | 11~12 | 配送先にて200kgドラム缶を転がして搬入した際、油倉出入口の鉄製レールで足を滑らせ、その勢いでドラム缶が自分の左足に倒れてしまい、脛から左足首にかけて負傷した。 | 39 | 50~ 99 |
| 2 | 11~12 | 配達のために走って向かい玄関前のスロープを通るべきところ、近道をするためにスロープ横から進入しスロープとの段差に躓き転倒した。その際に右肘を強打し、夜になって痛みがひどくなったため病院へ行った。 | 40 | 50~ 99 |
| 2 | 4~5 | 納品のため、店舗扉とセキュリテを解除して車両に荷物を取りに戻る時に、敷地と道路の境に段差（出っ張り）があり転倒し負傷したものである。 | 56 | 100 ~ 299 |
| 2 | 9~10 | 顧客先にて集荷作業時に、商品が載った台車（縦70cm×横80cm×高さ180cm、総重量約130kg）を冷蔵庫から出そうとしたところ、左足が滑り転倒した。その上に台車が倒れてきて、右足が台車に挟まれた状態で下敷きになり負傷した。 | 61 | 30~ 49 |
| 2 | 11~12 | 配達先納品終了後トラックの扉を閉める時、歩道の段差を踏み外し右足首を捻挫した。 | 52 | 1~9 |
| | | 出張中、業務を終え当社事務所から駅にある宿泊先ホテルへ行くために駅へ向かい歩いていたところ、駅前にある店舗出入口付近の急な段差に体のバランスを | | 10~ |

| | | | | |
|---|-------|---|----|-----------------|
| 2 | 20~21 | 崩し、足首をひねり骨折した。落差は、舗装されているところとないところの境目であったが、一見落差があるようには見えず、気付かなかった。 | 32 | 29 |
| 2 | 10~11 | 会社構内で、荷おろしをしようとトラック側のアオリを下げたところ、製品がぐらついた為、支えようとして、走った時に転倒した。 | 66 | 30~ 49 |
| 2 | 11~12 | マンションに配達に行き、約20kgのお米を不在であった為、両手で持ちながら車両に戻ろうとした際、マンション前の道路のレンガが、1個抜けて無い場所があり、底に足がはまり、左足を挫いた。 | 37 | 300 ~ 499 |
| 2 | 21~22 | コンベアでの商品仕分作業中、流れてくる商品に意識が集中し移動しようとした時に足元にあるコンベアの配線コードの束に左足が乗り体のバランスを崩し足首を捻った。 | 28 | — |
| 2 | 16~17 | 駐車場にて歩行中、大型バスと4tバスの駐車場の段差で、足元の確認を怠ったため踏み外し、捻挫となる。 | 59 | — |
| 2 | 5~6 | 農場で作業用フォークリフトに乗り込もうとした際、足がもつれて、前につんのめり、リフトの手前で転倒し、リフト側面で顔面を強打し、首がむち打ち状態になったものである。 | 58 | 10~ 29 |
| 3 | 20~21 | 工場内で清掃終了後の片付け中にゴミを拾うため、移動した際に足がもつれてつまずいてしまい、バランスを崩して転倒した。 | 63 | 50~ 99 |
| 3 | 12~13 | マンション敷地内の駐車場にて配達を終え車に戻るときに、小さな段差に気がつかず歩いていたところ、段差に足をとられ左足首を捻った。 | 54 | 10~ 29 |
| 3 | 16~17 | トラックでの引越作業を終えて、後始末で運転席で乗り降り中、不自然な姿勢で降りた際、体のバランスをくずし、左足関節を強く捻挫した。 | 27 | 10~ 29 |
| 3 | 19~20 | 配達先民家の敷地内でインターホンが見当たらなかったため、門の外へ探しに出たところ、思いがけず溝道があり、川に落下した。 | 53 | 30~ 49 |
| 3 | 7~8 | 配達荷物が届いたので、フォークリフトを運転するため車庫に歩いて行く途中に転倒し、後頭部・左ひじ・左肩腰をぶつけてしまった。 | 78 | 10~ 29 |
| | | 駐車場で業務終了後、事務所に戻る際、トラックに置いてきた忘れ物を取りに小 | | 10~ |

| | | | | |
|---|-------|---|----|-----------------|
| 3 | 18~19 | 走りでトラックへ行く途中、つまずいて転倒した。両手をついたが支えきれず、顎からアスファルトへ突っ込み、顎裂傷と下頬骨骨折を負った。 | 65 | 29 |
| 3 | 9~10 | 同社、5号倉庫構内にて、40フィートコンテナの封印を開けようと50センチ程度の高さのバンパーに両足をかけてカッターで切った際、身体のバランスを崩し、後方に倒れて尻もちをついたことにより負傷した。 | 48 | 30~ 49 |
| 3 | 17~18 | 集配の補助として荷物を取り扱っていた際に左足に痛みを感じた。 | 37 | 100 ~ 299 |
| 3 | 15~16 | 集配のため車両を停車させ運転席から降車し、集配先に向かうところ、路上にある大きな凹みに右足をとられ、右足首をひねり捻挫する。 | 29 | 30~ 49 |
| 3 | 14~15 | 組合員に商品を届けた後、空箱を持った状態で門扉を閉め、道路に出ようとした。道路側に振り向き左から一歩踏み出した時、入口と道路との段差（約5cm）に気づかず足をひねり、右足くるぶしを骨折してしまった。 | 33 | 50~ 99 |
| 3 | 6~7 | 派遣先にて工作中納品完了後、トラックへ移動する際転倒し左脇腹を強打した。 | 74 | 100 ~ 299 |
| 3 | 18~19 | 終業点呼を事務所で行い、自分の乗用車駐車場に歩いて行く途中、何かに躓き転倒し右足を捻った。 | 63 | 30~ 49 |
| 3 | 19~20 | 配達に行くため車を駐車し、120サイズ位の荷物を持ち、車外に降車する際、社内の階段を左足で降り、右足で地面に足をついた。その際、5cmの段差に気付かず、右方向にバランスを崩し、足を捻挫した。 | 51 | 30~ 49 |
| 3 | 14~15 | 派遣スタッフとして事務所移転作業に従事中、12号館入口付近で歩いている時にドア止めに躓き転倒し、左膝を打った。 | 43 | 50~ 99 |
| 3 | 20~21 | 構内で引越荷物の積入作業を行う為、ターミナルホームへ上がろうとした。ホームまでの高さが150cm程あった為、トラックの荷台から移そうとしたが、上がりきれず滑ってしまい、トラックとホームの間が60~70cm程開いていて、その隙間へ落ち、背中と後頭部を強打した。 | 58 | 10~ 29 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 4 | 16～ 17 | 本社配送センターでトラックへ石膏ボードを積込中、フォークリフトより降車した際にコンクリートの窪みに左足が入りひねった。 | 44 | 100 ～ 299 |
| 4 | 7～8 | 積荷の空オリコンを他の車両に移し替えしようと、空オリコン（折りたたみコンテナ）を持ちながら前方を向き、荷台より降り着地した際に右足を捻り、くるぶし付近の骨にヒビが入った。 | 58 | 100 ～ 299 |
| 4 | 19～ 20 | 配達時にお客様宅玄関前にて、段差のあるコンクリートにつまずいて転倒し、左膝皿にヒビが入った。 | 45 | 30～ 49 |
| 4 | 11～ 12 | 納品場所に到着後トラック荷台から積荷（洗濯機）の荷降ろし作業の際荷物を後ろ向きに引っ張っていたところバランスを崩し、左足首を捻じり負傷した。 | 43 | 30～ 49 |
| 4 | 19～ 20 | 配達を終え、マンションのエントランスを出ようとした際、出入口が傾斜になっていることに気付かず走ったことで右足をつまずいてしまい、右肩から地面に転倒し、右鎖骨を骨折した。 | 52 | 10～ 29 |
| 4 | 11～ 12 | 配達先であるマンション入口で配達票を見ながら歩いていた為、車止めチェーンに気がつかず躓き転倒し、右手を地面に強打し、手首を剥離骨折した。 | 60 | 10～ 29 |
| 4 | 14～ 15 | 荷物の積み込み中、床が凍っていて足を滑らせバランスを崩し、壁や床に手をぶつけて負傷した。 | 31 | 10～ 29 |
| 4 | 19～ 20 | 構内において、大型運行車への商物の積み込みをおえた後、大型車の荷台に最終便コンテナ（小）を積み終えたあと足を滑らせ転倒し骨折した。 | 0 | 30～ 49 |
| 4 | 5～6 | 当社支店ホーム上にて、荷卸し仕分け作業中、足下に置いてあった台車に気づかず、振り向きざまに台車につまずき、左膝を地面に強打した。 | 52 | 100 ～ 299 |
| 4 | 13～ 14 | 倉庫内（A棟）にて次の箱にかんばんを挿しに移動する際、足元にあったPPバンドを跨ごうとした。その際、他の作業者がそのPPバンドを製品に固縛するため引っ張ったところ、跨ごうとした本人の右足に引っ掛かり右前方に転倒し、右膝から落ちて右膝蓋骨を骨折した。 | 55 | 30～ 49 |
| 4 | 23～ | 荷台上の荷崩を手直し、フォークリフトに乗り込む際、フォークリフトの爪につ | 31 | 50～ |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------|
| | 24 | まずぎ転倒し、右手を地面についてしまい、右手に痛みが走り動けなくなった。 | | 99 |
| 4 | 3~4 | 店に到着しトラックを駐車しコロ台車をトラック後部の店舗様の柱に立て掛けた。荷物を降ろす為にトラックコンテナ内に入り、荷物を確認しコンテナ後部に置きコンテナから降りる時に、柱に立て掛けていたコロ台車が倒れていたのに気付かずコロ台車の上に乗り倒し、左肩を負傷した。 | 52 | 50~ 99 |
| 4 | 3~4 | 納品先店舗へ商品が入ったカゴ車を運搬する際、台車のタイヤが地面の窪みに引っかかり、台車が倒れそうになったため支えようとしたところ、左手首の筋を痛めた。 | 48 | ~ 299 |
| 4 | 10~ 11 | 室外機を運んでいる際に、段差に躓き左足首を捻り転倒する。 | 31 | 30~ 49 |
| 4 | 16~ 17 | アイスクリームの出荷作業の為、冷凍庫内に入り、入口の扉を閉めようと振り返ったところ床に氷が張っており、足を滑らせ転んだその際に手をつき、左手首を骨折した。 | 35 | 10~ 29 |
| 5 | 13~ 14 | エリア活動業務にてお客様へ訪店した後、店舗入り口を出て車へ向かう際、降雨で濡れていた石畳の路面で滑って尻もちをついた後、転倒して頭部打撲した。 | 61 | 50~ 99 |
| 5 | 20~ 21 | 営業所庫内にて、冷凍庫内を移動中、足が滑り転倒し受傷した。 | 43 | 50~ 99 |
| 5 | 20~ 21 | 営業所内（センター内3階）にて、冷凍庫内でオリコン1個を積載した台車を下を向いて手で押していた際、顔を上げた時、6~7m先にいたフォークリフトが見えたことに驚き、踏ん張った際に足が滑り、後部から転倒し受傷した。 | 55 | 50~ 99 |
| 5 | 10~ 11 | ドラム式洗濯機を納品している際に、高さ上げの部材が必要となった為、車輞に取りに戻る。車輞まで走って戻っている時に、道路の側溝の蓋（金属製）部分で足を滑らせて後方に転倒し、右背中腰部分を地面に打った。なお、当日は雨が降っていた。 | 20 | 30~ 49 |
| 5 | 0~1 | 次現場へ徒歩にて移動中、道路の段差に躓き被災した。 | 46 | 10~ 29 |
| | | 荷物を4tトラックに積み込み後、荷物をベルトで固定し、荷台より（荷台から地 | | |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 5 | 14～ 15 | 面まで約1mの高さ) アスファルトの平らな地面へと飛び降りた際に左足に痛みを感じた。トラック走行に大きな支障がなかったため勤務を続けたが、その後、痛みが増した。 | 39 | 30～ 49 |
| 5 | 6～7 | 積み込み場で、トラックの歯止めを外そうとした時、付近の側溝(2～3cm程度の浅い側溝)に左足が入ってしまいバランスを崩して転倒し、左足を捻った。 | 50 | 30～ 49 |
| 5 | 9～ 10 | ショッピングセンターでパン箱を回収に行くため、スロープを上ろうとして転びかかり、足首をひねり、靭帯断裂となった。 | 45 | 10～ 29 |
| 5 | 9～ 10 | 支店荷捌きホーム上で配達荷物の集配用トラックへの積み込みを終えてトラックに乗り込む為、ホーム端を小走りで走っていたところ幅が10cm×15cmで深さが2cm程の凹に左足をとられ、左足を捻り負傷した。ただの捻挫と思い仕事を続けていたところ痛みが激しくなり、足首がひどく腫れ上がった。 | 33 | 100 ～ 299 |
| 5 | 13～ 14 | 高速道路サービスエリアにて車輛(大型トラック)を停車後、後車する際、地面に穴が空いていることに気付かずに着地し、その穴に足を取られて挫いて転倒した。激痛の為、その後の作業が出来ない状態となってしまった。 | 59 | 10～ 29 |
| 6 | 13～ 14 | 荷台の上から降りる際に、小石があるのを確認せずに降りたところ、その小石を踏んで踵を骨折した。 | 45 | 1～9 |
| 6 | 8～9 | 朝のアシストがクール仕分けを行いながら車両に積み込みを行っている際に、荷物を持ちながら構内の平坦な箇所です足を挫き、くるぶし骨折となる労災事故を発生させてしまった。 | 42 | 30～ 49 |
| 6 | 11～ 12 | 積込作業終了後、手を洗おうとトイレに行った後、車輛に行こうと歩いた時、段差(約15cm)で躓き、右足首をくじいて負傷してしまった。 | 44 | 30～ 49 |
| 6 | 6～7 | 荷降しするためにオープンバースに接車し、荷下ろしを開始する。荷下ろしに夢中になりオープンバースから落ちそうになったため、車両後部扉につかまり落ちない様にした時に、左腕に全体重がかかり、痛めてしまった。左上腕骨大結節骨折と診断された。 | 41 | 30～ 49 |
| | 11～ | 市場へ出荷する野菜苗を集荷時、苗が積載されている台車をトラックの荷台へ搬入するため、台車をパワーゲートから押していたが、ゲート上が雨で濡れていた | | 10～ |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|-----------------|
| 6 | 12 | ため足が滑り、バランスを崩し、倒れそうになった。そのため、パワーゲート上で左手を着いたが、その時に左手から左肩にかけ激痛が走った。痛みはあったが台車の積み込みを終え、昼頃、自分で運転して帰社した。 | 41 | 29 |
| 6 | 17～ 18 | 地下駐車場で、荷物を持って車の所に戻ろうとしたところ、段差のある所を踏み外し、右足甲を骨折した。 | 48 | 10～ 29 |
| 6 | 10～ 11 | 配達作業中、下り坂を荷物を持ったまま小走りしていた際、足元を滑らせ転倒した。その際、右足首を捻挫し、右肘を裂傷する怪我を負ったものである。 | 48 | 50～ 99 |
| 6 | 20～ 21 | 店舗納品終了後、回収物（空カゴ等資器材）を降ろしに行った際、車両荷室より荷降ろし作業を終了し、車両ゲート上からアスファルト地面に飛び降りた時、誤って右足首を捻り、捻挫したものである。 | 61 | 100 ～ 299 |
| 6 | 11～ 12 | マンションで家財の搬出後、トラックに積み込み、扉を押した際に、雨が降っていて道路に敷いていた床養生が濡れていた為、足が滑って床に激しく右手をついた。肩に激痛があったが、その日は大丈夫と思い病院に行かなかったが、翌日痛みが増していた為、病院に行った。 | 36 | 1～9 |
| 6 | 14～ 15 | トイレ休憩のため駐車場に停車し、トイレに向かおうとした際に縁石に躓き、転倒して手をつき、右肩を腱板断裂した。 | 57 | 1～9 |
| 6 | 9～ 10 | 個人宅で、介護ベッドの部品を左手に抱えて運搬中、スロープを降りている最中、雨が降っていた為、足元が滑り転倒し負傷した。 | 53 | 100 ～ 299 |
| 6 | 8～9 | 建築現場で1階部分にボードを搬入する時に、玄関前の段差を埋めるため、足場材をスロープにした。そして、ボードを持ってその足場スロープにのったところ、滑ってバランスを崩し、そのまま前側に転倒した。ボードを落とすまいと持ったまま転倒したので、そのボードと入口のコンクリート部分に左手の指を挟んで、2ヶ月の通院加療の負傷をしたものである。 | 36 | 50～ 99 |
| 6 | 6～7 | 事業所内にて、車両荷台で積込作業を行い、荷台から降りようと、後方のステップに右足で降り、次に左足を地面に降ろしたところ、左膝に激痛がはしり、左膝外傷性関節炎、左膝関節捻挫と診断された。 | 56 | 50～ 99 |
| | | | | |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 6 | 11~ 12 | 自社倉庫敷地内にてリフトで走行中、旋回を行ったところ、路面の雨漏れにより、リフトがスリップし、止まりきれず停車中の自社トラックと接触した。その際、身体がリフト外へ振られ、トラックとリフトに左足を挟まれ打撲傷となる。 | 38 | 10~ 29 |
| 6 | 16~ 17 | 営業所庫内にて、カゴ車を移動中にふり返った際、足を滑らせ転倒した。雨上がりで床が湿っていた。 | 69 | 100 ~ 299 |
| 6 | 15~ 16 | お届け先にDM便の配達を終えて車に戻る途中、玄関の段差10cm位の高さを足を踏み外し、左足から落ちて左足首を負傷した。 | 50 | 30~ 49 |
| 7 | 14~15 | 倉庫内で作業中、チェーンブロック整理中に左手で引いて歩いている際、前方に転倒し右腕に全体重がのったため転倒。 | 44 | 10~ 29 |
| 7 | 18~19 | 被災者は会社の駐車場にてトラックから降りて地面に着地した際、右足膝を痛める。 | 48 | 10~ 29 |
| 7 | 17~18 | 顧客構内で集荷作業中、荷物を台車にのせて、後ろ向きに歩いている時、つまずいてバランスを崩したため、右手をトラック荷台後部へついた。その時体重がかかり、右肩関節を脱臼した。 | 38 | 100 ~ 299 |
| 7 | 16~17 | 待期中、4tトラックの荷台のアオリロック解除がならなかったため、車を降りて後方にまわりジャンプして右足でアオリ部分を蹴って着地した際、地面の凹凸した石（横10cm、幅8cm）上に左足を着地してしまい、そのあおりで左足部位を捻って痛み受傷したものである。 | 52 | 10~ 29 |
| 7 | 22~23 | 構内よりクールボックスをクール室内へ運び入れる際、左足首を捻り、左足甲を捻挫した事故である。 | 18 | 300 ~ 499 |
| 7 | 9~10 | 4Tトラックの荷台にて荷降しをする際、ベッドマットレスの上ののっている物をとろうと脚立にのって届かなかったため、直接マットレスの上によじ登り奥から手前まで出してきた。そしてマットレスから飛び降りる時、ベタ足で着地してしまい、腰に負担がかかり痛めてしまった。 | 50 | 50~ 99 |
| | | 被災当日、業務を終え営業所に帰社し退社しようと事務所のドアを開け自家用車 | | |

| | | | | |
|---|-------|---|----|-----------------|
| 7 | 22~23 | に向かおうとした際、出入口の石段に誤って躓き転倒してしまった。その時膝を強打してしまい負傷した。その日は痛みがあったものの夜間だったため自宅へ帰り、翌日も痛みがあった。 | 60 | 10~ 29 |
| 7 | 13~14 | 弊社トラック庫内において、積載中に足を滑らせ転倒し、ふくらはぎの靭帯を損傷した。 | 49 | 30~ 49 |
| 7 | 17~18 | 構内で、8tトラックに石膏ボードを積み終えシートを掛け、荷台後方へピンと張るためシートを引っ張った際、雨が降っていたため、手が滑ってバランスを崩し、コンクリートの地面に左手をつき、手首を痛めた。 | 54 | 30~ 49 |
| 7 | 12~13 | 休憩所駐車場にて、トラック荷台の片づけをしているときに、足元にある角材を踏みつけ、右足首を捻った。 | 31 | 10~ 29 |
| 7 | 6~7 | 被災者は、弊社構内の歩行帯を、左手にハンディターミナルを持って前進歩行していた際に被災した。 | 28 | 100 ~ 299 |
| 7 | 7~8 | 新工場内で、商品納入時に商品を両手で持って、搬入のため歩行中に少しの段差で足を捻った。 | 51 | 10~ 29 |
| 7 | 17~18 | ダンプ置き場において、ダンプの荷台の端から荷台の雨除けシートをかけなおしていたところ、足場が滑りやすかったのでシートにつかまっていたが、その手が滑りダンプの荷台から飛び降りるような形になり着地した。その際に右足のかかとから降りたため強打して負傷した。 | 50 | 30~ 49 |
| 7 | 11~12 | 配達先で2トントラックから降車した時に、足元がわるく右足首をひねり、はれあがった。 | 44 | 1~9 |
| 7 | 11~12 | 当日積込を済ませ、会社の倉庫駐車場（会社所在地に同じ）に戻ってきたが、積荷のハウスの窓（引き戸）が気になり、脚立に乗りテープで固定していたところ、バランスを崩した。脚立から飛び降りた際、左足踵を骨折した。 | 51 | 50~ 99 |
| 7 | 17~18 | 荷卸し現場にて、荷卸し後に雨漏り防止のシート掛けをしていた時に、荷台から地面に降りた。昇降設備を使い地面に着地する際、地面にあった敷鉄板と地面の境の段差で左足をくじいた。 | 45 | 10~ 29 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-------------------|
| 7 | 9～ 10 | 砂利の敷地内で、クレーン車で産廃カゴを吊り上げ中、トラックの方へ歩いていたら転倒し、左手で体を支えたところ、左手首を骨折した。 | 35 | 30～ 49 |
| 7 | 0～1 | 工場内を移動中に、雨で濡れた路面で足が滑り転倒した際、地面にあった大きな石に左脇腹を強打した。 | 62 | 10～ 29 |
| 7 | 10～ 11 | 積荷の荷卸後、荷台の後片付けを行うため場所を移動し、駐車する。荷台整理後、助手席側後方のアオリを下し後ろ向きで下りる。右足を縁石にかけようとした時、踏み外してしまい右足を挫いてしまう。 | 55 | 30～ 49 |
| 7 | 16～ 17 | 当社倉庫内において、トレーラーを荷降ろし場へ駐車作業中、降車した際に地面の砂利で足を滑らせ転倒し、右足首を捻って負傷した。 | 44 | 100 ～ 299 |
| 7 | 10～ 11 | 配達先で配送作業が終り、トラックに戻る際、急に意識がなくなり、路上に倒れ頭を打ったものである。 | 57 | 30～ 49 |
| 7 | 2～3 | 自動仕分け機でキーヤーの作業をしているとき、ベルトコンベアから落下した荷物を取るためベルトコンベアを乗り越えて飛び降りた際、左膝を骨折した。 | 42 | 1000 ～ 9999 |
| 7 | 16～ 17 | 工場内倉庫（高さ1.2m、幅70cm位）の踊り場で、荷物の出入れのため扉を開けようとしてバランスを崩して落下し、左足踵を強打した。 | 61 | 30～ 49 |
| 7 | 13～ 14 | 配達が終わりに車に戻ろうと、左手に空き箱を持ち少し早足で歩いてたところ、躓いて転倒しそうになったので右手を咄嗟に出し、右手を強く道路に打ちつけてしまった。 | 68 | 10～ 29 |
| 7 | 9～ 10 | 配達を終え車両に戻る際、アスファルトが削られ約2cmの段差がある所で左足を挫いた。その際、手に持っていた荷物をかばったため、全体重が左足に乗り、転倒した。 | 41 | 50～ 99 |
| 7 | 12～ 13 | 宅急便の配達を終え、集配車両の駐車場所へ小走りで戻る際、道路のアスファルトが削れて穴があいている箇所があり、通過する際に右足が掛かり、そのまま捻ってしまった。 | 32 | 50～ 99 |
| | | オフィス移転現場のビル1Fに営業所があり、ビル前歩道から車道に段差解消のため | | |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------|
| 7 | 14~ 15 | め斜め台がかかっており、更にその上に固定されていない鉄板が敷いてある状況で、手ぶらでトラックの荷台に走っている最中に当該鉄板を踏んだところ、鉄板だけがスライドして滑り、尻から仰向けに車道に転倒した。その際、臀部打撲、及び手をついたときに左手首脱臼、両足首捻挫の怪我を負った。 | 40 | 30~ 49 |
| 7 | 10~ 11 | 個人宅にて引越し荷物の搬出作業中、ダンボールを2つ重ねて（重さ合計8~10kg）運んでいたとき、抱えたダンボールで視界が悪かったため、エントランス部分の段差（14~15cm）に気づかず、躓いて負傷した。 | 42 | 30~ 49 |
| 7 | 11~ 12 | ごみ収集をするために車から飛び降りたところ、右足の踝辺りに激痛がはした。 | 37 | 50~ 99 |
| 7 | 12~ 13 | 配達のため、車から30m先の配達先へ走って向かう途中、下り坂に差し掛かり、足元の不確認にて左足を捻り捻挫した。 | 54 | 50~ 99 |
| 7 | 11~ 12 | 配達先で配達を終えて、門扉を締めて1段階を降りた際、地面と道路のアスファルトの段差で左足を捻じってしまった。 | 54 | 30~ 49 |
| 7 | 16~ 17 | コンビニ駐車場内にて、用を済ませトラックに乗り込もうと徒歩で移動していたとき、駐車場の凸凹に躓き転倒し、その際、左手を地面についたため骨折した。 | 43 | 30~ 49 |
| 7 | 7~8 | 納品先にて荷卸し作業中、ソーター上にある商品のラベル位置を確認するため、車両荷台から右足をホームに設置した際、右ふくらはぎ付近に痛みを感じたが作業を続した。帰社後、足の痛みが無くならないので病院を受診した。 | 54 | 50~ 99 |
| 7 | 11~ 12 | ビルのゴミステーション出入り口において、ゴミを収集し終わって車に乗るとき、出入り口にある段差で捻挫をした。 | 27 | 1~9 |
| 9 | 14~ 15 | お客様出入口横のポストへメール便を配達後、ドアストッパーで躓き開いていたガラスドアに顔面を激突したもの。 | 38 | 50~ 99 |
| 9 | 13~ 14 | 配達先にて、1メートル角、重量25kg程度の貨物を、体前方にて抱えた状態で歩行し、5cm程度の段差を越えようとした際に不安定な状態で足を付いたため、バランスを崩し右足首及び足外側に負荷がかかり負傷した。大きな痛みを当初は感じなかったため、そのまま業務を続したが、後に痛みが増してきたため、業務を中断し医療機関を受診した。 | 51 | 30~ 49 |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|-----------------|
| 9 | 8~9 | ホームを移動中、足場の狭い場所を歩いていた際、足を踏み外し地面に転落、左足首を負傷したものである。 | 45 | 300 ~ 499 |
| 9 | 12~ 13 | 配送終了後、一般道に車両を停車、コンテナ内の掃除を実施して、コンテナ内より後ろ向きに降りステップに足をかけ地面に降りた際、地面が平らな状況ではなかった為、足首をくじいた状態になった。 | 45 | 50~ 99 |
| 9 | 2~3 | サービスエリアにて、休息中トイレに向かう際、暗闇のため、前方機足の高さの目測を誤り、転倒した。 | 52 | 30~ 49 |
| 9 | 19~ 20 | 荷物の配達の為トラックを駐車し、左側ドアより降車した際、車道と歩道の段差により右足首を捻った。 | 41 | 10~ 29 |
| 9 | 10~ 11 | 輸送中FTS敷地外より、ダンボールを両手に持ち運んでいた時、つまずき膝から地面へ転び、左足膝皿を横に断裂骨折に至ったもの。 | 49 | 50~ 99 |
| 9 | 15~ 16 | 冷凍庫コンテナ内にて、マーガリンを積み込む時に、パレットに積んである商品をジョルダーを使用し、コンテナ後方より前方へ移動していた際、予冷で少し床が湿っていたため、左足がすべり左後方に転倒した時、ジョルダー棒を持っていた左手をキールトン状の床に甲の方からついてしまい、負傷したものである。 | 42 | 1~9 |
| 9 | 9~ 10 | 顧客先にて納入作業が終わり充填ホースをはずしてローリーのステップ台から降りた時にアスファルトの地面に穴の開いているところがあり、そこに右足を引っかけてしまい転倒した。 | 50 | 30~ 49 |
| 9 | 11~ 12 | 現場にてトラックの荷台で作業を行い、近くに置いてあった荷物（段ボール箱4箱を縛ったものを2つ積んだ箱）に手をつき荷台から降りようとした際、その箱がしっかりとしていると思い全体重をかけたところ、直ぐ崩れてしまった為、そのままトラックの荷台から落下し、頭部及び右腕を負傷した。 | 40 | 50~ 99 |
| 9 | 15~ 16 | 本社において、食品の荷卸作業中（食器36kg）、トラックのゲートがホームとの間に10cmの隙間と50cmの高低差があり、右足をホーム上に乗せ左足を降ろそうとした時、足元を見ていなかった為、左足が隙間に落ちて右足に体重がかかり体を支えたため、骨折した。 | 37 | 30~ 49 |
| | | | | |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------|
| 9 | 14～ 15 | 配達の為車両後方に行き140サイズ位の荷物を降ろす際、両手で押さえながら後ろ向きにてステップを降りようとした、地面が歪んでおり右足を着いた際バランスを崩し捻ってしまい、当初は大丈夫と思い集配を続けていたが、夜になっても痛みが引かずセンター帰社後支店長に報告となった、後日、靭帯損傷の診断を受けた。 | 48 | 30～ 49 |
| 9 | 13～ 14 | 客先で1t用空袋を荷台にて整理中、空袋の吊り紐を引っ張った際、バランスを崩し地面に飛び降りた、その際、左足から着地したものの強打したことにより、左踵を負傷した。 | 47 | 30～ 49 |
| 10 | 15～ 16 | 当営業内の車庫から自車のトラックのタイヤ交換をしようとタイヤを運搬中、通路の段差につまずき、左足をくじいた。その後、痛みがとれず、病院へ行ったところ、骨折と診断された。 | 50 | 10～ 29 |
| 10 | 10～ 11 | 配達先で受付手続きを行うため、入口階段を踏もうとした際に右足首を捻り負傷する。当初はそれほど痛みがなく業務を続けていたが、午後になり痛みがひどくなった。 | 33 | 1～9 |
| 10 | 9～ 10 | コンテナから荷物を取り出す作業中、上段商品を脚立に乗り、荷降ろし後、脚立から降りた際、床に配置したパレットに誤って乗り上げてしまい、パレットがその勢いで滑ったため、床面に転倒し、右足付近を強打し、骨折した。 | 60 | 1～9 |
| 10 | 16～ 17 | 店に納品に行った際、ウィングを開きフォークリフトにてコンビテナーを降ろしていた。荷台上にてストッパーをかけていたコンビテナーが傾斜で落ちそうになり、フォークリフトから降りて一旦手で押さえようと向かうが、間に合わないと判断し後方へ退避した際、転倒し腰を強打した。 | 57 | 30～ 49 |
| 10 | 19～ 20 | 配達後通路の段差で車両に戻る際に、通路の段差を見落とし、左足を踏み外した。それにより以前から痛みのあった左膝の症状が悪化したと申告があった為。 | 52 | 50～ 99 |
| 10 | 11～ 12 | 配送先にて、積み荷を下ろしながら、角材をはずそうとして、持ち上げたところ、地面がぬかるんでいたため滑り体勢を崩し、角材ごと転倒してしまい、負傷してしまった。 | 57 | 10～ 29 |
| | | 営業所構内にて、トラックに荷積み中、品物（箱物）を積もうと手運びしてい | | |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------------|
| 10 | 12～ 13 | た。自分でトラック脇の地面に置いた台木の存在を忘れており、踏んでしまった。その際に台木が回転してしまい、バランスを崩して転倒。品物を抱えたまま転倒したため、右肘と右膝を打ちつけてしまい負傷した。 | 32 | 30～ 49 |
| 10 | 13～ 14 | マンション入口付近にて配達業務中に雨で路面が濡れていた事で足を滑らせ、停車中の原動機付自転車に、ぶつかるように転倒し、右脇腹部分を強打した事故。 | 37 | 50～ 99 |
| 10 | 10～ 11 | 地下において荷卸作業の準備のため、通路を歩行中に浸潤状態の白線上にて足を滑らせ、転倒を防ごうとしたところ、左足の肉離れをおこしたもの。 | 59 | 30～ 49 |
| 10 | 14～ 15 | 集配を終え、集配道具箱を両手で持ち、センターの構内を事務所向かい歩いてた際、構内に停めてあるフォークリフトの爪先に足を引っ掛け転倒し、両手がふさがっていたため膝をついた為、膝の骨を折ってしまった。 | 50 | 50～ 99 |
| 10 | 17～ 18 | 構内作業中に空のダンボールを取りに行き、ダンボール箱を2個両手で持って移動中に、クールボックス用の配線に足を引っ掛けてしまい転倒してしまった。その時に床に膝を強打し損傷したとみられる。 | 70 | 10～ 29 |
| 10 | 14～ 15 | 工場構内（屋外）にて、コンクリートパイル製品に金具溶接をする作業の際、金具を付けやすいようにする為、パイルをバールで転がした。バールに体重をかけたところ、バールの先がパイルから外れ倒れた。その際台木に尻部を強打した。台風の後で地面が、やや緩い状態で安全長靴の底に泥がついていて、足の踏ん張りが効きにくい状態であった。 | 55 | 10～ 29 |
| 10 | 15～ 16 | 荷受場所で持ち帰る荷物を移動していた。その際床が油で滑りやすい状態になっていた。荷物を倒さない様に支えたら右足が滑った為捻った。大した事では無いと思い仕事を続けていたが思った以上に痛みと腫れが引かなかった。 | 49 | 10～ 29 |
| 10 | 13～ 14 | 取引先構内にてリフトによりコンテナから搬出されたフレコンバックの2段積作業中、被災者は積み付けの誘導を行っていた。1段目を積み付けた後、バンニングデッキ横の足場上にて一歩後退したところ、足を踏み外し隣のパレット上へ背中から転倒した。その際に左肩をバンニングデッキの角に強打し負傷した。 | 49 | 300 ～ 499 |
| 10 | 18～ 19 | 荷物を積む際、トラック運転席より降りた時に窪みに右足をとられ捻ったものである。 | 43 | 30～ 49 |
| | | | | |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------------|
| 10 | 16～ 17 | 宅配便の集配中に車両から降りる際、足元を確認せずに降車して右足を地面に着地した時、石を踏んだ。右足首を捻り痛みを感じたがすぐに治ると判断したところ、翌日になっても腫れと痛みが引かず、関節捻挫と診断された。 | 57 | 50～ 99 |
| 10 | 13～ 14 | 納品先で家具を納品中、玄関にあった踏み板に足をとられ、無理な体勢のまま転倒した。転倒した際に足首と足の指の関節に体重がかかり負傷した。 | 40 | 50～ 99 |
| 10 | 12～ 13 | 建築現場内にて、システムキッチン部材を搬入中、相方作業員に呼ばれたので奥の方より振り向き様に床にあったPPバンドに足をひっかけ後方よりに倒れ、右腕から床について、負傷した。 | 48 | 50～ 99 |
| 10 | 16～ 17 | 納品先である店の駐車場内にて納品を開始しようとキャビンから降りた際、駐車場にあった縁石に足をとられ転倒し足を挫いた。痛みと腫れがあり納品できる状態ではないと判断し、会社へ連絡。その後すぐに病院を受診した結果「右足関節外側靭帯損傷」と診断されたもの。 | 43 | 100 ～ 299 |
| 10 | 15～ 16 | 配達先の構内に小型車（2トン車）を停車し、運転席より降りた際、地面の石に足が乗り右足を捻って負傷したものである。 | 59 | 50～ 99 |
| 10 | 17～ 18 | 積み込み作業を行った。積み込み作業を終了し、ウイングを背中にあおりの上に立ち、商品とあおりの間に緩衝材を入れていた処、バランスを崩しあおりから飛び降りた。着地後に左手を着いた処、左手手首を骨折した。 | 58 | 50～ 99 |
| 10 | 4～5 | 配達先のトラック待機場場において荷物のおろし準備中、待機場場の路面に生えていた苔に気づかず暗い路面の苔に右足が滑り身体の右側を下にして転倒。 | 65 | 1～9 |
| 10 | 17～ 18 | 納品先のホームで荷卸し後にトラックに戻る際に、ホーム上に置いてあったパレットの上を跨ぐ時にパレット上面の穴に誤って右足を突っ込んでしまい前方に転倒してしまった。その際に右手をついたので右手首を負傷し、パレットの穴に突っ込んでしまった右足首も負傷した。 | 47 | 10～ 29 |
| 10 | 17～ 18 | 運輸駐車場で、トラックが配送から戻ってきたため、高さ30cm程のブロックに乗りトラックの車庫入れ誘導を行っている時に、誘導しやすい場所へ移動しようとブロックから飛び降りた際に、着地点に鉄パイプがあり、それに右足を突いて足元を救われ足首が90度に曲がった状態で地面に着地し骨折した。 | 32 | 30～ 49 |
| | | | | |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-------------|
| 11 | 18～ 19 | 倉庫内で作業中、歩いている際、足を着く時に捻った状態で着地となり、バランスを崩し、左横に転倒した。その時は、痛みだけで、翌日になれば治ると思い帰宅した。翌日、仕事前に病院を受診したところ、骨折と診断された。 | 27 | 100～ 299 |
| 11 | 19～ 20 | 配達の為、車両が入れない狭路を歩いていた時、段差に躓き転倒し、脇の縁石に顔面部をぶつけたものである。眼鏡をかけていた為、転倒時に割れて目を傷つけたものである。 | 36 | 50～ 99 |
| 11 | 9～ 10 | 開発工事（宅地造成工事）現場で、道路工事の側溝（U字溝）を布設するにあたり、U字溝の内側に目印のテープを清掃しながら貼る際に、目にゴミ（破片）が入り角膜に傷が付いた。 | 47 | 10～ 29 |
| 11 | 9～ 10 | 配達後、車両に戻る際、道路の段差に躓いてしまい転倒した。地面に着く際に右手から倒れた為、右手の薬指と小指の第3指の部分を骨折してしまった。 | 36 | 100～ 299 |
| 11 | 7～8 | 倉庫で助手と二人で荷物を運んでいる時に床に置いてあったパレットに躓き、尻もちをついた。その際、背中をパレットにぶつけて右大10肋骨を骨折した。 | 41 | 50～ 99 |
| 11 | 14～ 15 | 引越現場のお客様宅敷地内の入口付近でダンボールを手を持って運搬中、足元のコンクリートの段差に躓き前方に転倒した。その際右手を地面に着いて右手骨折をした。 | 20 | 10～ 29 |
| 11 | 20～ 21 | 配送センターにてトラックをホームに接車し、ホームの階段を上がり柱とホームの間を通る際、足を滑らせてホームから地面に落下したものである。その際、ホーム地面に右肘を強打し負傷した。右肩も上がらない状態となる。 | 50 | — |
| 11 | 11～ 12 | 両手に荷物を持ってゲートから降りた際に、右足首を捻る。 | 19 | 30～ 49 |
| 11 | 2～3 | 所内において、荷下ろし後の空コンテナをのせたカゴ台車を移動させる作業をしていた。台車を引きながら移動させていたところ、不注意で台車の車輪が足に接触し、足がもつれて転倒した。その際にカゴ台車が倒れ下敷きになり、首を負傷した。 | 46 | 10～ 29 |
| | | 営業所構内において、作業終了後当日発生したゴミの入った袋を施設から約20m | | |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-----------|
| 11 | 18~ 19 | 離れた場所にあるゴミ置き場へ運ぶ途中、ゴミ袋と足が絡まり転倒し、前頭部と右肩を強打したもの。原因：両手にゴミ袋を持って小走りで移動していたこと（片方約2kg）。照明はついてしたが辺りは薄暗かったこと。以上の点から足元が確認しにくい状況であったと思われる。 | 62 | 50~ 99 |
| 11 | 9~ 10 | 現場は駐車場で4tトラックのボディーから50cm四方のマットを抱えて移動する時に下の方（足元）を注意していなかった為見えずに駐車場の車止めに、右足を引っ掛けて転んだ。 | 68 | 10~ 29 |
| 12 | 18~19 | 業務終了時、当社車庫地にてトラックを駐車し事務所へ戻る途中、氷に足をとられ転倒し左足首を負傷した。 | 39 | 30~ 49 |
| 12 | 8~9 | 当社構内で、10tダンプの運転席に乗ろうとした時、足元が滑って転倒し、頭から血を流していた。 | 68 | 50~ 99 |
| 12 | 13~14 | 配達を終え、荷台整理の為ステップに乗り、荷物を整理していたところ、強風にあおられ、体勢を崩し右足から着地したが右足ひざをひねり、着地場所は雪の段差があったため右足ひざが内側に入り痛みを伴った。痛みが引かず、病院へ行ったところ、じん帯損傷と診断された。当日は暴風警報も発令されており、非常に強い風が吹いていた。 | 27 | 50~ 99 |
| 12 | 13~14 | 被災社員は、トラックでの配送を終え、営業所にもどる前にガソリンスタンドでトラックの洗車中、トラック後方のスチーム洗車機のホースを持ち、後向きで後ずさりをしていた時、車止めに左かかとをぶつけ、仰向けに倒れ尻もちをついた時に、右足太ももに激痛が走り、そのまま起き上がれなくなった。営業所に連絡し、迎えに来てもらい、営業所にもどったが、動けない状態で、119番に連絡し、病院へ搬送された。 | 48 | 10~ 29 |
| 12 | 9~10 | 食料品・雑荷取扱会社の倉庫に4t積箱型トラックで納品、荷降ろしを終了させた後、出発前にトイレに寄ろうとして建物の角を曲がろうとしたところ、凍結した路面で足を滑らせて転倒した。その際に足を捻って受傷した。痛みが強くなった為、会社に連絡を取り、帰着後、病院にて治療を受け、骨折と診断された。 | 45 | 50~ 99 |
| 12 | 19~20 | 復興住宅の駐車場で、住宅から駐車場に戻る時、路面が凍結していたが、小走りで車に戻ろうとして転倒し、駐車場の車止めに左脚脛部分を強打し、骨折し | 39 | 30~ |

| | | | | |
|----|-------|--|----|-----------------|
| | | た。 | | 49 |
| 12 | 12~13 | 納品先で積み荷の米を荷台から地面に置かれたパレットに移す作業をしていた。地面には米粒が散乱しており、米袋を持ったまま右足が滑り、左足で踏ん張りをかけたが、左足も米粒に足をとられ滑った。その左足が滑った際に、無理に力を入れたため、ひねり、ひどい肉離れを起こした。 | 38 | 10~ 29 |
| 12 | 11~12 | 構内で局舎よりトラック待機場所に徒歩で向かう途中、路面凍結により滑って転倒し負傷した。 | 51 | 100 ~ 299 |
| 12 | 8~9 | 自社発泡スチロール中間処理施設にて、溶解してできた発泡ブロックの積み込み作業をする為、7tトラックを誘導しようと歩き始めた所、凍結した地面にうっすらと雪が積もっており、滑って転倒し、左足腓骨を骨折した。 | 59 | 100 ~ 299 |
| 12 | 6~7 | 駐車場で4tトラックの荷台のシートを外し積荷の確認作業中に、運転席側のあおりに手をつき飛び降りたところ、トラック側面にかけてあったゴムに足がかかり、着地時に足を捻り右足かかとを骨折した。 | 49 | 10~ 29 |
| 12 | 6~7 | コンテナ運搬作業中、配達先でコンテナを降ろして洗ってもらい、終了後にコンテナの扉を閉めて運転席に移動しようとした時、足を滑らせて転倒して左足を負傷した。 | 48 | 1~9 |
| 12 | 20~21 | 配達荷物を持ち駐車場内を駆け出した所、足がもつれ転倒した。その際、左肩より転倒し強打し、左肩を脱臼した。 | 45 | 50~ 99 |
| 12 | 5~6 | 配送センターに於いて、空置場に接車後、空番重をトラック荷台からバスへ手鉤棒を使用して後ろ向きで引きずっている際に、バスが雨で濡れていて足が滑り転倒し、番重20枚が受け身を取った右手に落下し、右手中指開放骨折を負った。 | 39 | 50~ 99 |
| 12 | 7~8 | 敷地内において、通勤用自転車を自転車置場に移動していた。その際、雨上がりだった為路面が滑り、転倒し、肩を打ち、鎖骨骨折に至った。 | 48 | 50~ 99 |
| 12 | 13~14 | 当社物流センター（研修先）で、仕分け作業をしている時、配線カバーに足を着 | 42 | 300 ~ |

| | | | | |
|----|-------|---|----|-----------------|
| | | 地させ、右足首をひねってしまった。 | | 499 |
| 12 | 8~9 | 物流センター内で、店舗で回収した空クレートの整理を行う為、車両から降りて後方に向かう時にアスファルトの窪みでバランスを崩して転倒した際に地面に手をついた。 | 62 | 100 ~ 299 |
| 12 | 13~14 | 会社敷地内で、打ち合わせのため事務室から出て、作業中の従業員Aと立って打ち合わせをしていたところ、他の同僚Bから呼ばれた為駆けつけようとしたところ、他の同僚Cがいたため、避けてフォークリフトのツメを跨いで渡った。左足から踏み出し、右足を上げた際、フォークリフトの右側ツメにつまずいてしまい挫創を負った。なお、フォークリフトは作動・作業中ではなく、止めてあったものである。（本人転倒なし） | 54 | 1~9 |
| 12 | 8~9 | 事業所構内、車両後方に置いたクール1次仕分けコンテナから車両クールキャビネットへクール搭載する際、先付け指定日がないため、少し離れたコールドボックスへ移動したが、車両後方に置いてあった荷台昇降用踏み台につまずき転倒した。転倒した際にひっくり返った踏み台の脚部が腰部にあたり、その後、右肘を床についたために負傷したと思われる。原因としては、足元の安全不確認が一番の要因であるが、踏み台が必要な作業状況も要因の一つである。 | 46 | 100 ~ 299 |
| 12 | 11~12 | 機材店において、コピー用紙（1個20kg）を計8個台車に載せて、トラックに積み込み作業中、移動する際に駐車場路面が雨で濡れていた為滑って転倒し、左膝を骨折した。 | 63 | 1~9 |
| 12 | 7~8 | 運行業務が終了し、帰社後、構内洗車場で運転席側の最後部のホイールまで洗い終わり、次に助手席側を洗うため、前方に回り込み、水道ホースを戻しながら後ろ向きに歩行中、地面が凍結していたので転倒し、左腕を骨折した。 | 44 | 100 ~ 299 |
| 12 | 2~3 | 積荷作業をしようとトラックの運転席から降りたところ、地面が凍っていたため滑って転倒し、その際に手をついて骨折した。 | 53 | 10~ 29 |
| 12 | 15~16 | 冷凍倉庫内で、休憩室へ移動するために歩いていたときに、ゆっくり歩かなくてはならない環境の中、移動を少し急いだことにより転倒し、その際に右手を強くついてしまったため、右手首を負傷した。 | 43 | 100 ~ 299 |

| | | | | |
|----|-------|--|----|-----------------|
| 12 | 20~21 | 営業所構内で貴重品BOXの返却のため、両手でBOXを持ち1F事務所から貴重品室に向かう際、地面にあるブルーBOXに躓き、地面で左膝を打撲した（足元不確認によるもの）。その後、痛みが引かないため受診した結果、左膝の皿にひびが入っていたことが判明した。 | 33 | 100 ~ 299 |
| 12 | 16~17 | チルド荷捌き場で、カゴ台車1台を押して移動中に、前方に転倒した。その際、左手がカゴ台車と地面の間に挟まり受傷した。 | 16 | 1~9 |
| 12 | 13~14 | ゲート上で冷蔵庫を移動する際、足が滑って転倒し、頭をぶつけた。 | 54 | 30~ 49 |
| 12 | 11~12 | 粉碎粉サイロ前の水溜まりで足を滑らせ、背中を仰け反った状態で中腰になり、踏んばったために胸椎を圧迫骨折した。 | 48 | 1~9 |
| 12 | 11~12 | 倉庫にてフォークリフトでパレット貨物を操作中、作業のため左足から降車したところ、体を支えることができずに転倒した。左足左距骨陥没骨折と診断された。 | 26 | 50~ 99 |
| 12 | 8~9 | 冷蔵倉庫内で荷受け作業中、被災者の横に1m50cm程度の高さに積んでいた軽い荷物（1kg~2kg程）の上部が崩れそうになっていることに気づいた納品業者が声をかけた際、咄嗟に中腰になったところバランスを崩して転倒し、その衝撃で圧迫骨折となった。 | 69 | 1~9 |
| 12 | 22~23 | トラックからホームへ荷物を下ろす際、間が20cmほど空いていたので、誤って左足を踏み外し、下に落ちて負傷した。 | 41 | 30~ 49 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html